

## 目 次

I. 総括研究報告	
もやもや病（ウイルス動脈輪閉塞症）における難病の医療水準の向上やQOL向上に資する研究-----	1
宮本 享	
（資料）もやもや病 改訂版診断基準	
II. 分担研究報告	
1. 60歳以上の高齢発症もやもや病に関する多施設共同調査： MODEST (multicenter survey of moyamoya disease over the age of sixty)	
14	
富永 悌二、藤村 幹、遠藤英徳 新妻邦泰	
2. 無症候性もやもや病の予後と治療法の確立を目指した多施設共同研究 AMORE study-----	17
黒田 敏	
3. 乳幼児もやもや病の病態、診断、治療に関する多施設調査-----	20
黒田 敏	
4. わが国におけるもやもや病に対する脳血管再建術の現状： DPCデータに基づく全国での解析-----	23
黒田 敏	
5. もやもや病における高次脳機能障害に関する検討：COSMO-JAPAN study-----	26
高木 康志、菊池 隆幸、宮本 享	
6. もやもや病の診断基準改訂-----	31
高橋 淳、黒田 敏、富永 悌二、片岡 大治、岩間 亨、宮本 享	
7. もやもや病成人出血発症例の治療方針に関する研究-----	34
片岡 大治、濱野 栄佳	
8. 片側性もやもや病の進行と遺伝的要因に関する患者登録研究：SUPRA Japan Registry・脈絡叢型側副路を有するもやもや病の多施設共同登録研究： Moyamoya P-ChoC Registry -----	37
峰晴 陽平、舟木 健史、菊池 隆幸、宮本 享	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表-----	42